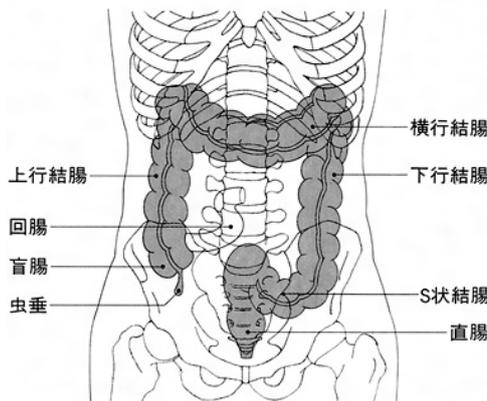


受けよう！大腸検査

文=上西 由加子(保健師)

図：部位別にみる大腸がんの症状



右側結腸	直腸・左側結腸
<ul style="list-style-type: none"> ・腹痛 ・血便 ・貧血 ・便秘 	<ul style="list-style-type: none"> ・血便 ・便が細くなる ・残便感 ・腹痛 ・下痢と便秘の繰り返し

現 在、日本人の死因トップはがんですが、部位別にみると減っているがんが増えているがんがあります。なかでも大腸がんは増加の一途をたどり、近い将来、がん死因のトップになると予想されています。

なぜ？大腸がん急増の理由

大腸がんが増え続ける1番の理由は、食生活の変化

です。

食生活の欧米化で肉類などの脂肪を多く摂り、発がん物質を排出する働きをもつ食物繊維の豊富な野菜や穀類、きのこ類などを食べなくなつたためといわれています。

大腸がんの症状は？

大腸がんは、発生場所により症状が異なります。排便に関係する症状が多い

のは直腸や左側結腸です。特に血便が多く見られるため痔と勘違いしないよう注意が必要です。(図参照)

また、初期には自覚症状がない場合も多いので、年に1回はがん検診を受け、早期発見に努めましょう。

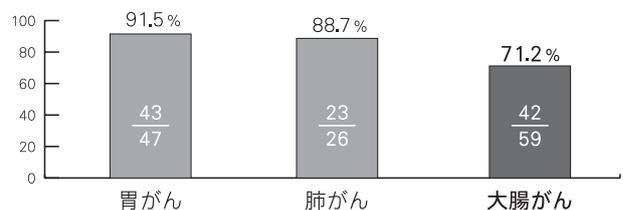
どんな検査があるの？

一般的に便潜血検査を行い、この検査で陽性になると全大

表：大腸検査の種類

便潜血検査	便の中の血液を調べ、大腸内の出血の有無を調べる検査 陽性の場合はさらに詳しい検査が必要
全大腸内視鏡検査	肛門から内視鏡を挿入し、大腸全体を内視鏡で観察する検査 良性か悪性かを判定
注腸X線検査	肛門からチューブを挿入し、バリウムと空気を入れて大腸の全部位を撮影する検査 小さながんやポリープも発見可

グラフ：羽幌町の精密検査受診率(平成22年度)



※数字(白字)は分母が精密検査対象者の数、分子が受診者の数

腸内視鏡検査などの精密検査が行われます。(表参照)

羽幌町が行う大腸がん検診は便潜血検査のみで、毎回多くの方が受診していますが、精密検査受診率をみると、他のがんに比べ低い状況にあります。(グラフ参照)

検診を受けることはもちろん大事ですが、より詳しい検査が必要になった場合は、必ず病院を受診し、早期治療を心がけましょう。